

2026年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘C) 成果報告書

書式 2 (適宜行追加可 Additional lines can be added as needed)

受入担当 教員	所属・職	国際教育・協力センター長
海外客員 教員	氏名	伊藤 正範 1. 南メソジスト大学 (SMU) 文理学部政治学科 准教授 武内 宏樹 2. 南メソジスト大学 (SMU) 文理学部 人類学科 准教授 CAIRNS Maryann Roselyn 3. Nazareth University 歴史、政治、法学部 助教 GUINGONA Phillip Brian 4. Stetson University コミュニケーション・メディア学科 准教授 PETROVIC Jelena
招聘目的	①. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2026年 年 6 月 9 日 ~ 2026年 7 月 11 日	
成果報告 Achievement Report 以下の内容を日本語か英語で記載して下さい。 Please describe the following in Japanese or English. 1. 授業担当及び研究 Teaching classes and research (1) 授業科目名 Course titles (2) 授業担当の成果 The achievement of the classes in which you are in charge (3) 研究の内容 Research Details (4) 研究の成果 Research achievement 2. 共同研究 Joint research (1) 共同研究の内容 Details of joint research (2) 共同研究の成果 Joint research achievement 3. 特別枠 Special quota (1) 活動内容 Activity Details	(1) 授業科目名 1. Contemporary Japanese and American Politics and Society 2. Humanity and Global Environmental Change 3. Women, Gender, and Sexuality in Asian History 4. Japan-U.S. Media and Pop Culture Remix ※いずれも国際教育・協力センター開講「総合日本学習科目 (JSC)」 (2) 授業担当の成果 (4名共通) 上記の科目は、KGU summer schoolの履修科目として、関西学院大学生および客員教員の引率留学生、その他の海外協定校からの短期留学生に提供された。これらの授業は学生たちにとって、学問的な価値だけではなく様々な背景を持った学生同士が学びあえる、非常に貴重な機会となった。 (3) 研究の内容 1. 中国と日本の政治、権威主義の比較政治経済学、東アジアの国際関係 2. 文化人類学、環境人類学、環境保健学 3. アジアの女性とジェンダー史 4. 南東ヨーロッパを中心に、移民と社会的包摂・帰属に関する政策・メディア言説、オンライン上の社会的排除、ならびに刑務所・移民収容施設における教育実践を研究	

受入担当教員コメント
(日本語で記載)

KGU Summer School 2026において、以下の教員が所属大学（本学協定校）より複数名の学生を引率し、同校の学生および関西学院大学生、その他の大学から短期留学生として来学した大学生たちに対して授業を1科目ずつ開講した。

氏名	引率者数	履修者数	履修者のうち 関学生
武内 宏樹	11	15	3
CAIRNS Maryann Roselyn		12	6
GUINGONA Phillip	6	32	2
PETROVIC Jelena	6	30	1

KGU Summer Schoolの実施に、これらの科目は不可欠なものであり、4名の教員の貢献は大きい。また本プログラムでの短期留学生の受入は本学から協定大学への交換派遣枠の獲得につながるため、協定関係の深化、本学の国際化に資するものである。

以上

海外客員教員が成果報告欄をご自身で記入される場合は本書式をお使いください。

* 本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます